

～(公財)青梅佐藤財団共催～子どもIT未来塾

小・中学生から学べるラズベリーパイによる
本格的ソフト・ハードプログラミング教室



問 学務課学務係

日時 6月24日(土)、25日(日)、7月22日(土)、23日(日)、8月19日(土)、20日(日)、
9月23日(祝)、24日(日)、10月14日(土)、15日(日) 午後1時～5時

会場 青梅市役所、羽村市産業福祉センター

対象 小学5年生～中学2年生で全回参加でき、次の条件を満たす方①
ネット環境があること(スマホでのテザリング可)②HDMI端子付
きテレビまたはディスプレイがあること

内容 おもちゃの制御、家電製品の赤外線制御、音声認識・合成、WE
Bデータの活用などを楽しく学びます。

講師 東海大学教授 清水尚彦氏 ほか

定員 15人(応募多数の場合は応募動機による選考)

費用 7,000円

その他 詳細は佐藤財団お知らせページ(2次元コード)参照

申し込み 5月22日(必着)までに往復ハガキに〈往信裏〉住所、氏名、
電話番号、性別、学校名、学年、メールアドレス、応募動機(100字以内)、
保護者からのひと言を記入し、〒198-0082 仲町295りそな
銀行青梅プラザ3階(公財)青梅佐藤財団「子どもIT未来塾係」へ



(公財)青梅佐藤財団共催

世界を覗いて体験してみよう!

国際理解講座 受講生募集

問 国際理解講座事務局 ☎25-1015 (水曜日のみ)、市社会教育課

日程 5月～令和6年3月の土曜日(原則第2・第4土曜日)

会場 市役所2階会議室・市福祉センターほか

対象 市内在住・在学の小・中学生、高校生

内容 外国人講師による英会話のほか、海外で活躍する方や日本文化の
専門家による文化講座(小学4年生を除く)を行います。また、外国料
理の教室や日本文化教室など体験型教室の実施も予定しています!

費用 年額2,000円

申し込み 市内各小・中学校、高校または社会教育課(市役所3階)
で配布する申込用紙に記入し、4月20日までに市内各小・中学校
の専用申込みBOX、社会教育課、国際理解講座事務局へ

学年・定員・講座時間

学年	定員	講座時間
小学4年生	30人	午前10時～10時50分
小学5年生		午前10時～11時50分
小学6年生		
中・高校生		

ハワイアンでベビーリトミック&子どもフラダンス レッスン

日時 4月22日(土) ①午前10時～10時40分②午前11時～11時40分

会場 S&Dたまぐーセンター 研修室A

対象 ①生後2か月～2歳のお子さんと保護者②3歳～小学4年生のお子
さんと保護者

費用 1組1,000円 定員 先着10組(予約制)

申し込み 電話でスポーツ推進課へ

妊婦歯科健診

日時 4月20日(木) 午後1時30分～3時30分

会場 健康センター

対象 安定期の妊婦

定員 先着10人(予約制) 持ち物 母子手帳、歯ブラシ

申し込み 電話☎23-2191でこども家庭センターへ



スポーツ・観光・文化

青梅市吉川英治記念館

春季展示「昭和10年代の英治作品と暮らし」

問 青梅市吉川英治記念館 ☎74-9477

昭和10年代から終戦までは、吉川英治の代表作である「宮本武蔵」、「新
書太閤記」、「三国志」や「源頼朝」など多くの作品を発表した時期であり、
また、吉川英治と妻の出会いや吉野村への転居、子育てなど、生活も充
実した日々を過ごした期間の一つと言えます。

本展示では、この間に著された作品に関する自筆原稿や挿絵、また、当
時のエピソードや本作品を原作とした映画ポスター等関連資料を展示する
とともに、残された写真や記録などを通じて当時の暮らしなども紹介します。

日程 4月8日(土)～6月25日(日)

休館日 月曜日

時間 午前10時～午後5時(入館は4時30分まで)

会場 青梅市吉川英治記念館展示室

観覧料 大人500円、小・中学生200円

※青梅市立美術館との共通観覧券で観覧可

※障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1人
(障害者手帳を提示)は無料

※市内の小・中学生は無料(土・日曜日、祝
日のみ)

▷「宮本武蔵」武蔵・お通の図(複製)石井鶴三 画



旧吉川英治邸(草思堂)が国の登録有形文化財に登録されました

問 青梅市吉川英治記念館 ☎74-9477

青梅市吉川英治記念館の敷地内にある主屋、洋館、土蔵および長屋門は、国民文学作家の吉川英治が折々に手を加えた旧家の屋敷が歴史的
景観を伝えており、「旧吉川英治邸(草思堂)」として、国の登録有形文化財(建造物)に令和5年2月27日付けで登録されました。

①主屋(明治時代中期)

旧家の大型養蚕農家を戦後、
吉川英治のこだわりの設計で改
修した住宅です。



②洋館(明治時代後期)

瀬戸本業タイルや大谷石など
各地の資材を集めて建てられた
洋館は、吉川英治が書斎として利
用しました。



③土蔵(1847年)

棟札に「風門之倉庫」と記した江戸時
代の蔵です。



④長屋門(江戸時代末期)

豪農にふさわしい袖部屋のある門で、
戦後、吉川英治が書庫や納戸に利用しま
した。

